

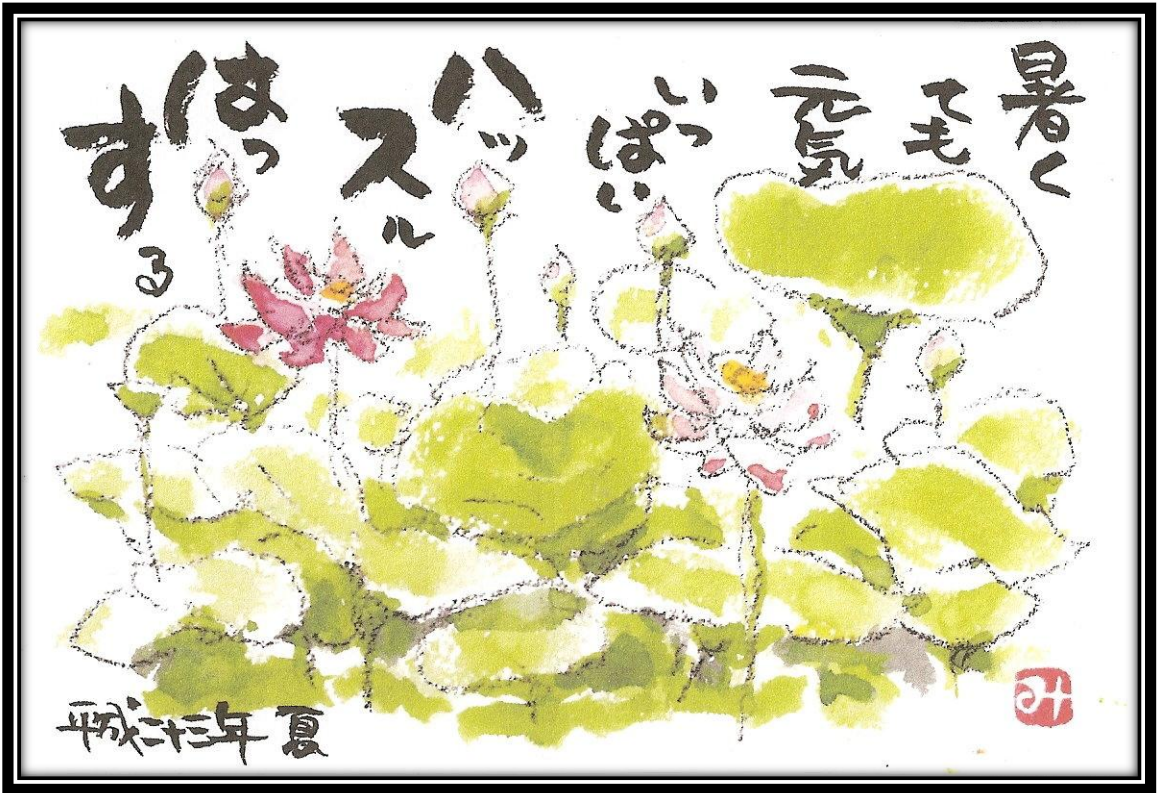
響

ひびき

真宗大谷派 道誠寺報

No.31

2011年9月26日 発行



絵 百田 稔さん

行事のお知らせ(10月、11月、12月)

日帰り旅行会の案内

行事の報告(7月、8月、9月)

法語



今、いのちがあなたを生きている

真のよりどころを
求めて

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要

10 月

行事のお知らせ

9日
(日)

- ・ 日曜法話会
- ・ 14時～ 講題「衆生の自覚」
- ・ 講師 柳瀬 幸孝 師
開教者会 玄中寺 衆徒

13日
(木)

- ・ にもくかい 二木会
- ・ 14時～

27日
(木)

- ・ 書道教室 写経
- ・ 15時～ 青山 美智子 師
- ・ 同朋会 どうほうかい
- ・ 17時～ 脇山 展彦 師

11 月

10日
(木)

二木会 改め

・ 日帰り旅行会

※詳細は次の頁で!

24日
(木)

・ 書道教室 写経

・ 15時～ 青山 美智子 師

・ 同朋会

・ 17時～ 小林 尚樹 師

上記の行事はすべて会費
ありません。

「二木会」は門徒さんの親
睦を深める楽しい会です。
初めての方でもお気軽に♪

「同朋会」は『正信偈』を
皆でお勤めした後、真宗の
教えに遇う大切な場です。

電車を御利用の方は、市
川大野駅まで車で送迎致し
ますので、お寺に電話御願
い致します。

(TEL 047-3337-5305)



道誠寺 第1回 日帰り旅行会

～茨城から栃木へバスツアーの旅～

11月の二木会では初めてとなる「日帰り旅行会」を企画しました。バスでの移動、日帰りになりますので、ご興味のある方はどうぞお気軽にご参加下さい！



日時と場所：

11月10日 木曜日

午前8時30分までに道誠寺前集合

会費：

2,000円

定員：

20名まで

参加希望の方は、お寺までご連絡お願いします。

047-337-5305まで

日程：

午前9時 道誠寺を出発。

午前11時頃 茨城県笠間市稲田にある西念寺へ。

午後12時30分頃 栃木県益子市にて昼食・買い物・美術館など自由見学。

午後4～5時頃 道誠寺に到着。

12 月

8日
(木)

- ・ おみがき会
- ・ 14時～

仏具をおみがきします。

28日
(水)

- ・ ほうおんこう
・ 報恩講
宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌法要
- ・ 14時～
- ・ 講師：中津 功師
親鸞仏教センター嘱託

道誠寺報恩講

宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌法要

親鸞聖人が出遇われたお念仏が、私たちのもとへ届けられています。様々なことで悩み苦しむ我が身をもって、お念仏の教えに聞いていきましょう。どうぞお気軽にご参詣下さい。

行事の報告

7月

28日(木)

「書道教室」「写経」

「同朋会」

書道 写経 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

九名参加

同朋会 参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十六名参加

講師 小林尚樹

今月は、「正信偈」の

によらい しよい こうしゅつせ

如来所以興出世

ゆいせつ みだ ほんがんかい

唯説弥陀本願海

ごじよく あくじ ぐんじょうかい

五濁悪時群生海

おうしん によらい によじつこん

応信如来如実言

えきようぶん

の「依経分」の部分でした。

ここには、お釈迦さまがこ

の世にお出ましになった理

由は、ただ弥陀の本願海を

説くためであるという「出世

本懐」を顕わしています。

この「出世本懐」とは、人

間が人間としてこの世に生

まれ出てきた本当の意味は

何であるのかと問いたずねる

ことです。

このお釈迦さまが説かれ

た弥陀の本願というものは、

『無量寿経』に説かれてある

ので、親鸞聖人は『無量寿

経』を「きよう真実の教」としていた
だかれています。

また親鸞聖人は、弥陀の
本願に出遇であわせて下さった
ご縁の方々を「諸しよぶつ仏」として
いただかれています。ですか
ら、法然上人を含む七人の
高僧はもちろん、お釈迦さ
までさえ「諸仏」としていた
だかれています。

亡くなられた故人をただ
諸仏というのではないのです。
亡き人を通して、「弥陀の
本願との出遇い」というご縁



⇓ 同朋会の様子

をいただけただのであれば、亡
き人は私にとって諸仏となる
のです。

如来所以興出世
唯説弥陀本願海

仏ぶつの世よにいでたまうゆえ
は、弥陀みだの御おんちかいをとき
てよろずの衆生しゆじやうをたすけ
すくわんとおぼしめすと
しるべし

五濁悪時群生海
応信如来如実言

五濁ごじよくあくせ悪世じやくのよろずの衆しゆ
生じやう、釈迦しやくか如来にょらいのみことを
ふかく信受しんじゆすべし

8月

15日(月)

うらぼんえ

「孟蘭盆会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十七名参加



↑ 勤行の様子

「正信偈」をお勤めした後、副住職による法話がありました。

副住職の法話は、「孟蘭盆会——さかさまは誰なのか——」というテーマで、孟蘭盆会の由来、言葉の意味から

問いかけられたものをお話しました。

うらぼん

「孟蘭盆」とは、「倒懸」、

とうげん

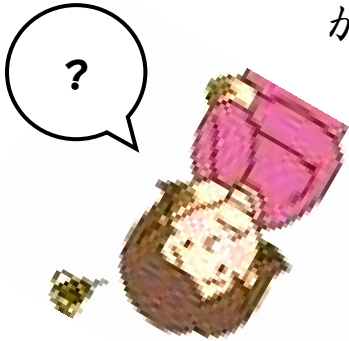
「さかさま」という意味を持っています。

私たちは、亡き人やご先祖の霊が苦しんだり、迷ったりしてはいないか、あるいは私たちに不幸が起きると、亡き人やご先祖の霊の祟りたたではないかと考えます。

私たちは、そのように、亡き人やご先祖を迷っている存在と勝手に見なし、そして救おうとしているのですが、

救われなければならぬ存在であるのは、この世で苦しみ悩みながら生きている私たちではないでしょうか。

つまり、亡き人やご先祖が「さかさま」になって苦しんでいるのではなく、亡き人やご先祖を「さかさま」に見ている私たちが実は「さかさま」になっているのではないのでしょうか。



9月

8日(木)

「二木会」

参加者

※ホームページ上では

公表しません。

十二名参加

お寺で茶話会でした。

「日帰り旅行会」について話し合いました。

御懇志

※ホームページ上では

公表しません。

敬称略

どうもありがとうございます

ございました。

◆敬弔

※ホームページ上では

公表しません。

生前のご功労を偲び、念仏合掌
して哀悼の意を表します。

法語

法によって

人が生まれてくる

生きた法というものに出遇って、苦悩の人間が、法というものによって自分の人生が変わると言いますか、ただ生まれて生きているだけではない。この教えに出遇ったということにおいて、存在の本当の意味がいただけ。仏法の事実が自分に受け止められ、そこに新しく、新しく人が生まれてくる。

本多 弘之

☆編集後記☆

◆登山に挑戦。高尾山と三ツ峠山に登りました。運動不足を痛感。最初は、登山をナメていて、また自分のペースが掴めず、本当に辛かったです。しかし、登りきった頂上で味わえる達成感と爽快感は最高です！

(釋光生)

編集

真宗大谷派 道誠寺

〒272-0804

千葉県市川市南大野 1-26-31

TEL: 047-337-5305

FAX: 047-337-5306

URL: <http://douzyouzi.com>

住職 市野 慈敬 (釋慈敬)

副住職 釋光生